

平成31年度
事業計画書

公益財団法人 防府市文化振興財団

平成31年度事業計画書

I 平成31年度 基本方針

本財団は、平成23年4月に山口県知事から公益財団法人として認定され、平成30年度には、公会堂、図書館など6施設の指定管理者として防府市から指定を受けており、各施設において様々な事業を企画運営し、市民文化と教育の振興に努めてまいりました。

平成30年度は、本財団の設立20周年であると同時に、地域交流センター（アスピラート）・青少年科学館（ソラル）開館20周年の節目の年となりましたので、記念の年にふさわしい多彩な事業活動を展開してまいりました。

文化事業では、地域交流センター（アスピラート）開館20周年記念事業として、「中山秀征講演会」、「第18回防府音楽祭」、展覧会として「山下清展」を開催するなどし、好評を博しました。

山頭火ふるさと館事業では、企画展の開催の他に財団他館との連携を図り、相互の事業発展につなげてまいりました。

科学事業では、開館20周年にふさわしく話題性のある企画展となるよう、春に「コロコロ探検ランド」、夏に「ニンニン・忍者展」、秋に「ネイチャーテクノロジー展」など、幼児から大人まで幅広い人々が、体験や展示見学を通じて科学への興味・関心をもつことができるような企画展を開催しました。

図書館事業では、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに参加登録してレファレンスサービスの質的向上に努めるとともに、出前おはなし会他の出張サービスの拡大に取り組みました。また、リーディングルーペとリーディングトラッカーを導入し、高齢者や障害のある利用者のためのサービスを推進しました。

平成31年度は、第3期指定管理完結の前年にあたることから、これまでの事業を検証しながら次期指定管理につながる事業活動を展開してまいります。

文化事業については、地域交流センターにおいて、市民の皆様の芸術文化活動に資するため、「鑑賞」、「育成」、「普及」、「発表・支援」事業に取り組めます。公会堂は、平成32年3月まで大規模改修工事のため使用できないことから、地域交流センターへの予約の集中が予想されるため、窓口対応やホームページの改善充実により、お客様への適切な対応、説明に努めます。

山頭火ふるさと館事業については、山頭火を顕彰、普及する施設としてはもちろん観光施設としての役割を果たすため、年5回の企画展をはじめ様々な事業を推進してまいります。

科学事業については、開館20周年であった前年度の事業成果を踏まえ、子どもから大人まで幅広い人々が、体験をとおして、より科学を楽しみ、科学の面白さが伝わるような事業運営を目指します。

また、防府市の「企業版ふるさと納税」により、常設展示物の一部リニューアルを行う予定です。

図書館事業については、図書館法等の趣旨に沿って適正な管理運営を行い、「防府市図書館サービス振興基本計画」や「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、教育及び文化の情報拠点として資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、ボランティア・生涯学習グループ等と協働し、集会文化活動の推進に取り組めます。

本財団は、平成31年度においても、広く芸術文化、科学、教育に関する事業を通じて市民の皆様の心豊かな生活を育むべく、これらの事業に積極的に取り組んでいく方針です。

II 平成31年度 事業概要

基本方針に基づき、定款の目的に沿った事業を展開することで、公益法人の使命達成に向けた取り組みを進め、防府市の文化振興を図ります。

また、収益事業についても、利用者のサービス向上につながる運営に努め、公益目的事業の財源として活用します。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

「市民一人ひとりが文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境づくりを行う」という本財団の基本理念に沿い、平成31年度においても、鑑賞、育成、普及、発表及び支援事業それぞれにおいて、市民の皆様に親しまれる幅広い事業を展開してまいります。

また、平成29年秋に開館した山頭火ふるさと館での事業運営を通じて山頭火の顕彰と継承に努め、文化の活性化に努めてまいります。

防府市公会堂・防府市地域交流センター（アスパラート）

(1) 鑑賞事業

① 音楽事業

クラシックからポップスまで様々な質の高い音楽を、防府市民をはじめとする来場

者の方々に提供し、音楽への興味・関心を高めていきます。

防府市公会堂が改修工事のため休館となり、大型公演は開催できなくなります。そのため、アスピラートのみとなり、規模・集客が小さくなりますが、館の機能性を生かして多彩な事業を企画し、音楽文化の裾野を広げるための取り組みに努めます。

また、防府市出身のアーティストを大切にするとともに、地域のニーズをつかみ、魅力的な音楽鑑賞事業を展開します。

ア クラシック

[主催事業]

- a 第19回防府音楽祭<ほうふニューイヤーコンサート2020>

…2020年1月10日(金)～13日(月・祝)(予定)

会場：アスピラート他

- b 広田智之(オーボエ) & 大萩康司(ギター) デュオリサイタル(仮称)

…2019年11月11日(月)(予定) 会場：アスピラート

その他1～2本を予定

[共催事業]

1～2本を予定

イ 伝統文化

[主催事業]

- a (仮称)伝統芸能公演 …(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート

その他1～2本を予定

ウ ポップス等

[主催事業]

- a 会員招待事業(2回)

講演会として講師調整中 …i)2019年5月(予定) 会場：アスピラート

…ii)2019年7月(予定) 会場：アスピラート

- b ポップス等コンサート 1～2本

…(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート

- c その他音楽以外のジャンルの公演 1～2本

…(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート

その他1～2本を予定

[共催事業]

- a 吹奏楽のタベ2019 ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート

…2019年10月9日(水) 会場：アスピラート

- b ポップス等コンサート 2～3本

…(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート

- c その他音楽以外のジャンルの公演 2～3本

…(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート

② 美術事業

本年度は、地元メディアとのタイアップで、夏休み期間中に親子で楽しめる最先端の体験型アートの展覧会を山口県で初めて開催するほか、防府市ゆかりの新進気鋭アーティストの企画展を開催します。また、学生から一般まで幅広い層を対象としたアートワークショップやアウトリーチ活動を実施し、教育や観光など多方面からアートによる街づくり目指します。

[主催事業]

- a (仮称)メディアタイアップ企画「魔法の美術館」

…2019年7月24日(水)～9月1日(日)(予定) 会場：アスピラート

- b (仮称)企画展「吉村大星展」

…2019年10月中旬～11月上旬(予定) 会場：アスピラート

- c (仮称)「アスピラートでクリスマス2019～冬灯り展」

…2019年12月頃 会場：アスピラート

- d 美術鑑賞バス(2回)

…i)2019年6月頃(予定) 行先未定

ii)2019年11月頃(予定) 行先未定

その他1本程度を予定

[共催事業]※名義共催

- a (仮称)ふるさとの匠たち～第12回「腕前探訪」

…2019年9月頃(予定) 会場：アスピラート

その他1本程度を予定

(2) 育成事業

本財団の特色ある事業として、育成事業を継続発展させてまいります。

① 音楽事業

防府音楽祭への出演を含め、参加者の充実度をより高めるとともに、音楽を聴くだけでなく、参加することの喜びを体験できるようなカリキュラムで展開します。

- a こども合唱教室 …月4回(毎週土曜日) 会場：アスピラート他

- b 弦楽合奏教室 …月2回(日曜日) 会場：アスピラート他

- c 吹奏楽教室 …月4回(毎週月曜日) 会場：アスピラート他

- d 合唱教室 …月3回(毎週木曜日) 会場：アスピラート他

- e チェンバロ講座(前3回程度)

…2019年8月～10月(予定) 会場：アスピラート

② 美術事業

美術展に併せた各種ワークショップや講座に加え、市民から要望の多い幼児から楽しめる造形ワークショップを、現役の小学校教諭と共同で企画・実施するほか、全県を対象とした小中高校生向けのデザインポスタープロジェクト等、より多くの子どもたちを対象として美術育成事業の充実を図ります。

[主催事業]

- a 「ゆめあーとひろば」 6回程度実施

…2019年6月～2020年2月(予定) 会場：アスピラート他

対象・定員：幼児～小学生・300人程度

[共催事業]※名義共催

- a (仮称)瀬戸内デザインランプリ 2019 ワorkshop・受賞作品展

…2019年11月頃(予定) 会場：アスピラート

対象：山口県内の小中高校生

その他1本程度を予定

(3) 普及事業

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味・関心を広げてもらうように普及事業を展開します。

① 音楽セミナー

[主催事業]

- a (仮称)音楽セミナー 田中雅弘の音楽旅日記17

…2019年7月中旬(予定) 会場：アスピラート

- b (仮称)音楽セミナー 楽器と音楽

…2019年8月頃(予定) 会場：アスピラート

[共催事業]

- a 室内楽セミナー

…2019年7月19日(金)～21日(日) 会場：アスピラート他

その他1～2本

(4) 発表・支援事業

[主催事業]

- a フェスタアスピラート2020(音楽部門)

…2020年3月1日(日)(予定) 会場：アスピラート

- b フェスタアスピラート2020(美術部門)

…2020年2月28日(金)～3月1日(日)(予定) 会場：アスピラート

[共催事業]

- a 防府少年少女合唱団演奏会 …2019年7月28日(日) 会場：アスピラート
- b 防府吹奏楽団定期演奏会 …2020年2月頃 会場：アスピラート
- c 第28回能章まつり …2019年10月12日(土) 会場：アスピラート
- d 第40回山頭火全国自由律俳句大会・第22回山頭火生誕祭
…2019年11月・12月頃(予定)
会場：アスピラート又は山頭火ふるさと館

(5) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設づくりに努めます。

① 防府市公会堂

昭和35年の開館から60年近くが経過し、また舞台音響・照明設備の大規模改修工事から16年程が経過したため、経年劣化による修繕箇所が多数発生してきました。

この度、2019年1月から2020年3月までを予定期間として、防府市による大規模改修工事が行われており、今回は舞台音響・照明設備の更新は行われませんが、主として耐震化並びに老朽化した大ホール客席椅子の更新が行われます。

この改修工事にあたっては、平成10年度以降当館を管理運営してきた当財団の立場から、当館が抱えている課題や多くの利用者の声をできる限りこの工事に反映されるよう、防府市側と協議し、計画に取り入れられています。

利用者の方には大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、その間は全館休館となりますので、ご理解とご協力をお願いしております。

会館の利用を再開する時期については、改めて防府市から発表されることになっています。

工事期間中においても、指定管理者としての自覚をもって、工事が予定どおり進むように防府市側と協議しながら維持管理を行います。

② 防府市地域交流センター（アスピラート）

今年度は公会堂の工事休館に伴い、例年以上にたくさんのお客様のご利用が見込まれます。特に土日、祝日など催事が集中する曜日については、すでに早い段階から予約が入っています。こうした状況を踏まえ、施設のご利用等について、よりわかりやすく柔軟な対応ができるよう窓口での対応やホームページの改善を進めます。

また、限られた人員でより多くのお客様に満足を得ていただくには、従来の踏襲ではなく新たな視点での工夫が求められると考えています。業務の効率化と事前の段取りを進め、迅速できめ細やかなお客様対応ができるようにしてまいります。

施設面では開館から20年を経過し、老朽化による不具合箇所が多数出てきていま

す。お客さまの安全と満足を保証するためにも、日常点検を強化し可能な限りの修繕と計画的な更新に努めてまいります。

さらに、地域社会との連携活動にも力を入れます。具体的には、コンベンションに力をいれている防府市や防府観光コンベンション協会との連携協力。また昨年度と同様に、社会科見学やインターンシップの積極的な受け入れ、バックステージツアーの開催などにより、多くの市民にアスピラートに親しみをもってもらおうきっかけづくりに努めます。

(6) 財団会員の運営管理

防府市文化振興財団では、文化事業をはじめ財団の各事業について、市民の皆様にご理解とご支援をいただく財団会員の募集活動を実施しています。会員特典として「財団通信」（隔月発行）の配布や会員先行販売・割引などを実施しています。

平成29年10月から財団メールマガジンを開始し、現在200名の登録がなされています。防府市文化振興財団の各施設でのイベント最新情報をパソコン・スマートフォンなどに毎月1回以上発信しています。

今後も事業活動を通じ有意義で魅力のある取組みを展開し、財団会員の増加を図ってまいります。

山頭火ふるさと館

山頭火ふるさと館には、

- 1 山頭火を顕彰・継承する記念館としての文化施設としての役割
- 2 学校や公民館等と連携してあらゆる世代の人たちが学ぶ教育施設の役割
- 3 「うめてらす」等と連携して新たな人の流れをつくり、防府市を活性化する観光施設としての役割

以上3つの役割が求められています。その3つの役割を踏まえて、運営事業・研究普及事業・収益事業・管理業務を推進してまいります。

(1) 運営事業

山頭火ふるさと館の案内や催し等について、市民ボランティアとの協働を推進し、来館者や市民に親しまれる館運営を目指します。

① 案内業務

山頭火ふるさと館には、無料ゾーンと有料ゾーンがあり、多くのお客様が来館されますので、受付カウンターには常時職員を配置し、来館者に対する施設の総合案内や主催事業への参加誘導等を行って、一人でも多くの方に山頭火の世界に触れていただ

くよう努めます。

② ふるさと展示交流室の運営業務

交流室については、通常は多くのお客様に気軽に利用していただけるスペースとして無料開放し、山頭火のふるさと防府の様々な情報発信ができるよう努め、施設の有効活用を図ります。

交流室を専用して使用するための申請があったときは、市の条例及び規則に基づいて、使用許可等の事務を適正に実施します。

③ 広報活動

全国におられる山頭火ファンに向けて、各種メディアを活用して山頭火に関連する情報発信を積極的に行うことにより、山頭火や自由律俳句に親しんでいただき、山頭火ふるさと館へ足を運んでいただけるよう努力します。

ア ホームページ・Facebook での情報発信 随時

イ 山頭火ふるさと館報の発行 年二回

ウ 山頭火ふるさとラヂオ（FM わっしょい） 月一回放送

エ その他各種メディアの活用

（２）研究・普及事業

① 収集・保存

山頭火ふるさと館の収蔵資料は、大切に整理・保存して確実に後世に継承します。

また、館の収蔵資料の充実のため、山頭火やその関連の資料の収集に努めます。

② 調査・研究

館収蔵の資料については、学術的な調査・研究を行い、その成果を展示や館報など様々な形で発信して活用に努めます。また、次年度の特別企画展に関する資料の調査もおこないます。

また、全国唯一の山頭火の専門施設として、他の施設や研究者と交流し、山頭火に関連する情報の収集に努めます。

③ 展示活動

ア 特別展示室

山頭火や山頭火を取り巻く人々、自由律俳句の魅力等を観覧者に伝えるための特別企画展を開催するほか、特別企画展の開催期間以外については、特別展示室のケースを利用して、所蔵する資料の一部を紹介する企画展を開催します。この場合、資料の劣化防止や観覧者への配慮等の観点から、同じ資料が長期間展示されることのないよう、計画的に入れ替えを行います。

・平成31年4月13日（土）～6月23日（日）

企画展「コレクション展示 山頭火を書いた現代人」（仮）

- ・平成31年6月28日（金）～9月8日（日）
企画展「自然を詠む」（仮）
- ・平成31年9月13日（金）～12月8日（日）
特別企画展「周防三羽鳥 ～山頭火と白船・碧松～」
- ・平成31年12月13日（金）～3月8日（日）
企画展「山頭火の書」（仮）
- ・平成32年3月13日（金）～6月中旬
平成31年度・32年度企画展「山頭火をつくったもの」（仮）

イ 常設展示

導入展示室と常設展示室では、山頭火の生涯や人間的な背景を紹介するパネルと資料を展示します。資料の劣化防止や観覧者への配慮等の観点から、同じ資料が長期間展示されることのないよう、年に一回以上、一部展示の入れ替えを行います。平成31年度は、4月8日～12日の企画展展示替え期間に合わせて展示を入れ替えます。

ウ 無料ゾーン

ふるさと展示交流室では、毎月「今月の一句」を選んで掲示し、来館者に紹介します。館所蔵の書籍で保存状態が特に良好なものについては、ふるさと展示交流室に設置して来館者が自由に読めるようにします。また、来館者ノートを置いて、感想等を記入していただけるようにします。そのほか、句碑の写真等の展示をおこない、随時展示を入れ替えます。

市民ギャラリーでは、市民の方々による文化・文芸活動の発表の場としてだけでなく、有料の展示室への導入として山頭火を紹介する展示もおこないます。

- ・5月下旬～6月下旬
企画①「樹木希林と山頭火」（仮）

④ 教育普及活動

「山頭火をうたい 山頭火にしたしみ 山頭火をつたえる」ことを目的に、山頭火や自由律俳句等をテーマとしたセミナー、ワークショップ等を企画し、ふるさと展示交流室を利用して開催します。

- ア 山頭火を学ぶ会 月一回、5回シリーズを二度開催
- イ 自由律句を学ぶ会 月一回、全10回シリーズ
- ウ 自由律句で遊ぼう（小・中学生対象） 二か月に一回、全5回程度
- エ 自由律俳句大会 年一回募集・表彰
- オ フォトコンテスト 年一回募集・表彰
- カ 書道コンクール（市内小・中・高校生対象） 年一回募集・表彰
- キ そのほか企画展関連イベント3件程度

ク よみうり小・中学生投句大会 4月、11月（読売新聞社との共催事業）

小・中学校等の社会見学を積極的に誘致します。なお、団体利用等の観覧者から要望があったときは、職員が解説を行います。また、依頼があったときは、市内や県内の公民館や各種行事等への出前講座もおこないます。

⑤ 交流活動

市民ギャラリーやふるさと展示交流室等を利用して、文化協会等と連携し、市民の作品等を展示することで、市民の文化活動を支援し、市民文化の振興を図ります。

また、市内の新たな文化施設として、うめてらすや周辺の商店、地域住民団体等と良好な関係を築くよう努め、地域の行事・企画等に積極的に協力することによって、地域の文化発展に貢献してまいります。

⑥ 本財団内部の連携事業

本財団でこれまで実施している、音楽・美術・視聴覚ライブラリー・図書館等の事業と山頭火ふるさと館の事業との連携を図って相互の事業発展につなげていくことを目指します。

また、他施設にも投句箱を設置する等、財団全体で山頭火ふるさと館の事業を支援します。

（3）管理業務

①施設・設備・備品の維持管理と環境整備

施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を適切に実施し、日常かつ計画的な清掃業務を行うことにより、来館者が安全で快適に利用できる環境整備に努めます。

②保安・警備・防犯対策

山頭火ふるさと館には無料コーナーがあり、誰もが自由に入出りできる環境にあるため、職員による定期的な見回りや監視カメラの活用により、常に的確な館内・館外の状況把握・防犯管理に努めます。

安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、利用中止や退館の措置を講じるなど、必要に応じて警察への通報を踏まえた毅然たる態度で対応します。

③危機管理

自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理マニュアルや危機管理体制の整備、消防法等の関係法令に基づく定期訓練の実施、救急救命講習会等への定期的な参加等により、全ての職員が、緊急事態の発生や危機を迅速に認識し、的確な対応が取れるよう備えます。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された防府市青少年科学館は、「科学を、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組んでおります。

平成31年度は、開館20周年であった前年度の事業成果を踏まえ、楽しみながら科学の面白さが伝わるような企画事業を実施します。

また、防府市の「企業版ふるさと納税」により、常設展示物の一部リニューアルを行う予定です。

なお、平成31年度は、第三期指定管理期間の4年目となることから、次期の指定管理者となることを目標に運営や事業の検討をしてみたいと考えております。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

平成30年度は、防府市の企業版ふるさと納税による資金で、常設展示の一部リニューアルが行われました。平成31年度も、引き続き、所轄担当課によりリニューアルが計画されておりますので、当館ではリニューアルにふさわしい展示物の選定等に加わり、青少年が体験しながら、より科学を楽しみながら学習できる展示物導入へ向けて協力して参ります。

また、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなども来館者に大変人気があることから継続して行い、科学を楽しく学ぶ機会を提供します。

科学館での体験をきっかけに科学に興味をもち、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう、教育普及事業を展開します。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催します。月ごとにテーマを変え、科学的な原理、原則や、道具の使い方などを学習できる教室です。

イ サイエンスショー

科学の原理をショー形式で紹介し、楽しみながら科学への興味を深めます。土・日・祝日に実施するとともに、平日は学校団体からの要望にもお応えします。団体の利用については、学年や目的に応じた内容のショーを実施し、科学への興味、関心を育みます。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施します。少人数の講座で、科学を掘り下げて学べます。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、わかりやすい展示方法や体験によって、科学への興味・関心を高めることができる事業を展開します。一年間を通してより多くの人々が来館されるよう、魅力的で多様な企画を実施して、科学に親しむ機会を提供します。

また、企画に関連した講座なども行います。

ア 春休み工作教室

【平成31年4月1日（月）～4月7日（日） 7日間】

学校の春休み期間中に、各種工作教室を実施します。材料費が必要な工作教室と、材料費なしでも随時参加できる教室を設け、子どもたちがより多くの体験ができるようにし、充実した春休みを過ごせる学びの場を提供します。

イ 特別展「究める！マグネット展～（仮称）」

【平成31年4月27日（土）～6月9日（日） 38日間】

平成26年度に開催した「マグネット展」では、磁石の基本的な性質や驚きの現象などを紹介する企画展でしたが、平成31年度の「究める！マグネット展」では、磁石の吸着力や磁気特性、温度特性などの要素を、実際の現象を通して理解し、そのうえで磁石を活用している身近な製品や技術を紹介することで、より深く磁石について理解し、科学的、技術的な視点や考え方を養うことを目的に開催します。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

【平成31年6月15日（土）～6月30日（日） 14日間】

公益社団法人発明協会が、次代を担う青少年の科学的な探究心と創造力の伸長をはかることを目的として開催している「第41回未来の科学の夢絵画展」の全入賞作品を展示します。

エ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2019」

【平成31年7月20日（土）～8月4日（日） 14日間】

当館が毎年開催している夏休み恒例の特別企画です。講師に、小学校から大学までの先生方、企業や他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の講座を実施します。また、予約なしで参加できる工作コーナーも実施します。

オ 特別展「世にも不思議な科学館（仮称）」

【平成31年8月9日（金）～9月8日（日） 27日間】

学校の夏休みといった多くの来館者が見込める時期に、万華鏡を始めとした鏡や回転する物体、視覚のトリックを使った装置を使い、視覚など人間の通常の感覚を惑わす展示物で、日常ではできないような不思議な体験ができる特別

展を開催する予定です。

カ 防府市小中学校科学作品展

【平成31年9月25日（水）～9月29日（日） 5日間】

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学校の児童・生徒の夏休み自由研究・工作から校内選考で選ばれた優秀作品を展示します。

キ 企画展「もぐもぐ探検隊（仮称）」

【平成31年10月19日（土）～12月1日（日） 38日間】

食べ物になった気分で、「胃のボールプール」や段ボールで作られた「小腸迷路」、「大腸トンネル」などを探検しながら、子どもでも楽しみながら人間の消化器官など体の仕組みについて学ぶ企画展です。また、岡山の川崎医科大学現代医学教育博物館の協力により、消化に関するポスター展示と嚙む力の体験装置の展示を行う予定です。

ク ソラールのクリスマス2019

【平成31年12月21日（土）～12月22日（日） 2日間】

館内にクリスマスデコレーションを施した温かな雰囲気の中、クリスマスらしい工作教室やビデオ上映などを行います。

ケ パネル展「星のある風景（仮称）」

【平成32年1月25日（土）～3月8日（日） 38日間】

当館と関係のある天体写真家からアマチュア天文家の方まで、様々な方々に写真の提供をしていただき、天体写真のパネル展を開催する予定です。単なる天体写真だけではなく、風景や日本古来の建物と一緒に星座や天体が写っている写真も展示し、風景や建物と天体がコラボレーションし、それらの魅力が伝わってくるような写真も展示する予定です。

（2）情報収集保管事業

太陽望遠鏡による太陽観測映像や、科学に関係した資料を収集保管します。また、収集した資料を使った展示や学習支援活動により、科学や科学技術に関心を持ち、考える機会となるよう、所蔵資料の効果的な活用に努めます。

なお、常設展示リニューアルへ向けた他館の展示物の情報収集にも努めます。

（3）啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行い、地域の科学教育の推進に努めます。また、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みます。

(4) 学校連携及び外部連携事業

① 学校連携事業

市内の小学校への出前講座や機器の貸出しなどを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行います。また、希望者が増加傾向にあるインターンシップをはじめ、職場体験学習、学芸員実習により、人材育成支援も行います。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体、並びに科学系博物館加盟上部団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができるアウトリーチ活動や、科学教室、企画展の開催を目指します。

また、外部の団体と連携することで、地域に根差した科学館となるよう努めます。

③ 防府市少年少女発明クラブ

防府市少年少女発明クラブでは、ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」のメンバーが指導員となり、子どもたちが主体的に学びながら、楽しんで活動しています。

様々な活動の中で、ものづくりにも挑戦しています。作品の一部は、ソラールのクリスマスで展示しています。また、公益社団法人発明協会主催の「未来の科学の夢絵画展」への参加など、科学的な創作活動を続けている発明クラブの活動を引き続き支援します。

(5) 科学教育指導員派遣事業

増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識・技術をもった人を指導員に育成したり、指導員のスキルアップの支援をしたりして、科学教育指導員派遣事業を更に充実させます。

(6) 情報提供活動

ホームページをはじめ、「そらーる通信」や「ソラール年報」で活動の情報や実績を広く紹介します。また、財団通信や市広報、報道機関への情報提供にも努め、積極的にPR活動を行います。

そのほか、小学校の社会見学など団体利用の誘致を進め、施設の利用促進に努めます。

(7) 財団会員特典

これまで、芸術文化など科学とは異なる分野に興味があり科学館を利用されなかった方にもご来館のきっかけとなるよう、平成28年度から開始した防府市文化振興財団の会員に対する割引を継続します。さらなる利用促進に向けて、身近なテーマを取り上げるなどして、利用者の裾野の拡大に取り組みます。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

視聴覚教材や機材の充実と活用を図って、学校教育や社会教育における学習効果を高める事を目標とします。この目標達成のために、以下の事業を推進します。

(1) 視聴覚教材や機材の計画的な充足

視聴覚教材や機材に対する利用状況や利用者の要望を分析し、運営委員会などで検討をして、具体的な充足計画を策定します。

充足計画に従って、視聴覚教材や機材を整備し、新規整備した教材などの内容を利用者に紹介し、利用の促進を図ります。

(2) 視聴覚教材や機材の貸出管理

視聴覚教材の目録を整備し、利用者に周知します。視聴覚教材の目録をホームページで検索できるよう引き続きデータの整理、更新を行います。また、追録を作成し、学校など市内の諸教育施設に送付します。

視聴覚機材の保守点検に努め、利用申込み者の要望に応えられるように努めます。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

青少年科学館の事業内容に適合する視聴覚教材を選定して上映することにより、科学教育の普及を支援します。また、クリスマスには、科学事業の「ソラールのクリスマス」に合わせ、クリスマス上映会を行い、来館者サービスに努めます。

(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された視聴覚教材を、市内小学校内で計画的に上映できるように配送します。

(5) ビデオ撮影編集講習会の開催

地域住民の視聴覚教材制作への関心を高め、技術の向上を目的とした講習会を開催します。また、平成28年度から開始した「タブレット講習会」も好評につき、引き続き開催します。

(6) ホームページの充実

上述の視聴覚教材目録の検索の保守・改善や、自主制作の「地域教材ビデオ」などを、インターネット上でどなたでも視聴できるシステムも継続して整備します。

4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

「私たちの目指す図書館像－防府図書館の任務と目標－」を具体化した「防府市図書館サービス振興基本計画」に沿って、市民のための図書館サービスを推進します。

(1) 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

① 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

ア 資料収集業務

図書館資料の適正な選書・収集を、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実を図ります。図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊。視聴覚資料の購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点。

イ 資料分類・目録整備業務

資料の受入れに際しては、体系的・継続的に管理するための迅速・正確な資料組織化・整備を行います。資料受入れ時に、日本十進分類法新訂8版に基づく適切な書架分類と配列、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）の検索画面等を提供します。

ウ 書架管理・蔵書点検業務

書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料を迅速に処理し、10月と3月に全開架資料の蔵書点検を行います。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行います。

エ 資料提供業務

窓口カウンターでは、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、正確、迅速に行います。また、個人情報保護の観点から自動貸出機の利用奨励を図り、より利用し易い環境の整備に努めます。

② 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

ア コンピュータシステム管理業務

コンピュータシステムの円滑な運用により、サービスの強化を図ります。Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自ら読書履歴を管理する読書手帳、Web上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用により、図書館利用の促進を図ります。

イ 情報発信（広報）業務

ホームページ上の情報を随時更新して内容の整備を図り、電子媒体による情報発

信の充実に努めます。また、月刊の「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」等の広報紙や行事チラシを発行するとともに、市広報「ほうふ」及び防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」に、記事を定期的に掲載します。地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等のメディアも活用します。

ウ 図書館年報作成業務

「平成30年度図書館年報」（一般用版・子ども用版）を作成し、冊子及びホームページで公表します。

エ サービス環境整備・安全対策・危機管理業務

施設・設備・備品の点検を日常的に行い、適正な清掃業務を実施して、安全で快適な利用環境の整備に努めます。図書館は不特定多数が利用し、自由に入出りできる場であることを踏まえ、施設管理会社・警備会社・警察等と連携して、的確な状況把握と防犯管理に努めます。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応します。自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理体制の不断の改善、年2回の定期消防訓練、普通救命講習会等の実施により、全職員が、緊急事態や危機に際し的確な対応が取れるよう備えます。

オ 利用マナー啓発業務

日常的に利用マナー向上のための啓発活動に努めるとともに、7月1日から8月31日まで「マナーアップキャンペーン」を実施、併せて幼児から小学生までを対象とした啓発イベント「グッドマナーチャレンジ」を行います。

③ 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

ア 移動図書館車「わっしょい文庫」運行业務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車「わっしょい文庫」に常時約3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回します。業務を適正に運用するため、コース、ステーション等は、半年毎に見直しを行います。また、市内各地で開催されるイベント等に合わせ、移動図書館車の臨時出張サービスを行います。

④ 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

ア レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務

資料相談カウンターでは、司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行います。児童カウンターにおいても、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援します。また、参加登録をしている、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進や、「レファレンス協同データベース」の活用を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり利用者をそれ

らの機関へ案内・紹介するレフェラルサービスを行います。レファレンス事例集や
新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）
等の充実に努めるとともに、レファレンス研修やフロアワークの強化に努めます。

イ 図書館資料の複写サービス業務

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写
サービスを適正に実施します。

（２）地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

① 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンター としての機能を持つ図書館

ア ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

- ・「第9回防府市子ども読書フェスティバル」（5月26日（日）開催）
- ・「第29回防府図書館まつり」（10月19日（土）開催）

上記のイベント等について、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催し、
図書館事業への市民参画の推進を図ります。

② 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽し く活動できる図書館

ア ボランティア活動推進業務

- ・「防府図書館ボランティア連絡会議」（1月開催）

図書館ボランティアの現状と課題について、図書館とボランティアとが認識を共
有し活動環境を整備していくため、情報や意見を交換する会議を開催します。

- ・「図書館ボランティア養成講座」（2月頃4回シリーズで開催）

図書館ボランティアの裾野の拡大と活動内容の向上を図るため、必要な基礎知識
の習得と技術の向上に資する講義・演習を行う講座を開催します。

（３）生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

① 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

ア イベント・懇談会業務

- ・「講演会とワークショップ」（5月26日（日）開催）

「第9回防府市子ども読書フェスティバル」において、イラストレーターの岡本よ
しろう氏による講演会とワークショップを開催します。

- ・「防府図書館ビブリオバトル」（5月・7月・11月開催）

読書推進活動の一環として、小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケ
ーションゲーム、ビブリオバトル（知的書評合戦）を開催します。

- ・「防府図書館利用者懇談会」（11月開催）

利用者の意見や提言を直接聴いてサービスの向上を図るため、参加者を募集し利用者懇談会を開催します。

イ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、それぞれテーマを設定し、定期的に行います。新聞・雑誌コーナー壁面では、市民や行政機関等が主催の絵画・写真その他の作品展覧会を開催します。

② 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

研修室他、集会スペースの利用許可業務を適正に行い、生涯学習グループに学習の機会・場・設備・資料等を提供して、図書館での活動の支援に努めます。研修室については、利用予定の無い日に学習室として開放します。

(4) 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

① 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 地域（郷土）資料収集業務

地域（郷土）資料、特に防府市関連の資料について、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めます。年間地域（郷土）資料収集目標冊数450冊。

② 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

ア 上山満之進と三哲文庫顕彰業務

展示室内の常設展示「上山満之進と三哲文庫」について、随時、展示替えを行います。

イ 「防府史料」刊行業務

地域史料等を翻刻または復刻し、ホームページ上にも掲載する「防府史料」刊行業務は、第69集『防府地形の変遷』（御菌生翁甫・著）を発行します。

③ 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づいて、100冊程度の資料を相互に寄贈・受贈し、受贈資料を市民の利用に供します。

(5) 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

① 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

ア 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や市立小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライ

ン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の貸出や学校用貸出文庫の利用促進を図るとともに、学校司書研修の機会や場の提供に努めます。

イ 「地域文庫」・団体貸出業務

地域における読書活動支援業務の一環として、市内15ヶ所の公民館に設置している「地域文庫（配本所）」の利用促進に努めます。また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫の利用促進に努めます。

② 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

ア 他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等を積極的に展開するとともに、文書館や博物館・美術館等との連携強化に努めます。

イ 本財団内連携業務

毎月1回、財団内連携推進会議を開催し、委員7人による各館の事業等に関する情報交換や、連携業務の展開について協議を行います。地域交流センター（アスピラート）や市公会堂・青少年科学館（ソラール）・山頭火ふるさと館で開催される企画展やイベントに合わせ、関連図書の展示やブックトーク、おはなし会等を行うとともに、ミニブックリストやパスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の作成・配付をします。また、「紅葉どんぐり便」の受付を本館や移動図書館車でも行い、これに関連した連携業務を行います。山頭火に関する資料や情報の収集等について連携するとともに、山頭火の「今月の一句」とその解説を展示します。

（6）子どもたちの読書活動を進めていく図書館

① 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

ア 子ども読書活動推進業務

- ・「子ども図書館員」（夏休み期間に2回開催）

子どもたちの図書館業務への理解を深め、読書活動を推進するため、夏休み期間に小学校4～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催します。

- ・「第7回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」（7月～9月実施）

子どもたちの、資料を使って調査研究する能力を育むため、市内の小中学生を対象とした「第7回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催し、学習能力の向上と図書館利用の促進・啓発に取り組めます。

- ・職場体験・図書館見学等の奨励

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等を奨励し、図書館への理解促進と利用拡大に努めます。

- ・出前講座・出張イベント

市内の公共施設・商業施設等に出張し、おはなし会等のイベントを開催します。

② 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア ボランティアとの連携・協働業務

ボランティア主催の諸行事・研修等において、図書館職員のブックトーク等を実施し、連携・協働を推進します。

(7) 障害者や高齢者に優しい図書館

① 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

ア 障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務

障害者・高齢者への資料・情報提供サービス向上のため、点字付き触る絵本・大活字本・音声資料等の整備・充実、本館や移動図書館車での利用促進に努めます。また、視覚障害者用音声付インターネットサービスの周知に努めます。

② 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

ア 対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務

ボランティアと連携し、対面朗読サービス・音訳図書製作等の推進に努めるとともに、障害者への郵送貸出サービスについて、周知と利用促進に努めます。

③ 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

障害のある利用者のためのボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進に努めます。

5 収益事業

利用者のサービス向上につながるよう、チケットの受託販売や青少年科学館と山頭火ふるさと館のショップ運営などを展開します。

これらの事業で得た収益は、公益目的事業の一層の充実を図るために活用します。

なお、防府市公会堂の有料駐車場は営業休止中です。

(1) 有料駐車場

防府市公会堂有料駐車場については、開設から18年ほどが経過しており、精算機等の機器の老朽化により故障が頻発しており、利用者にご迷惑をおかけしないように努めてまいりましたが、設置メーカーによる部品供給期限も超えているため修理不能な状況になってきております。今回の防府市公会堂の大規模改修工事に合わせて、いったん営

業を休止し、機器の更新を含めた、今後の有料駐車場の維持管理について防府市と協議しています。

(2) チケットの受託販売

公会堂（仮事務所）、地域交流センターでは、他館で開催されるチケットを積極的に受け入れ、利用者のサービスに努めるとともに、チケット購入で来館されたお客様に、本財団で実施する事業を知っていただく機会にします。

(3) 青少年科学館ミュージアムショップ

質が良く信頼性の高い商品、科学的で生活の中に共有できる商品を提供することで、ミュージアムショップの利用者増を図り、財源の確保につなげます。

また、科学館の教育的目的に関連させた商品の取り扱いを増やすことにより、科学館での体験をより豊かにするようなミュージアムショップの運営に努めます。

(4) 山頭火ふるさと館ミュージアムショップ

受付横のミュージアムショップで、山頭火に関する書籍や物品など、山頭火ふるさと館来館の記念になるような物品を販売します。